## これは何でしょう

答えについての思い出などもお待ちしています。

◪しめきり　7月9日（土）
◪あて先　〒783　南国市大埇甲二三〇一　南国市企画課
親子クイズ係
◪賞品　正解者の中から抽選で5人の方に図書券を進呈

◎第3回親子クイズの答えは、柱時計でした。

第3回当選者発表（敬称略）
（応募総数25通）
岡恭子佳　（包天）
岡林由紀（上末松）
大石美佐代（左右山）
高畑春美夜　（日付）
西岡美加　（緑ケ丘）

# 広場

## club クラブ

### 久礼田小　まんがクラブ

最近、漫画熱が上がり、昨年の漫画甲子園での地元岡豊高校の活躍などは記憶に新しいことと思います。そんな中、久礼田小まんがクラブでも、将来の漫画家たちが楽しそうに制作をしています。

現在部員は１５人で、もっぱら家から持ってきた漫画の模写をしていますが、顧問の赤松元子先生は、いずれ自作の漫画を描いてもらおうと考えているようです。また、年度末にはオリジナルのイラスト集も計画するなど、このクラブを通して部員たちに想像力、集中力を養ってほしいとのこと。

「漫画は読むのも描くのも好き。落書きをして怒られたこともあります。みんなと一緒に描くのが楽しい。そのうち自作の漫画も……」と部長の西原浩二君をはじめ、部員たちは本を貸しっこしながら、絵を見せっこしながらの制作を楽しんでいます。

今月は、四国一周ウォーキングで、みごと完歩を達成された西森律さんからのお便りを紹介します。

### 完歩賞を手にして

あなたには日頃より健康に留意し健康づくりに精進を重ね
四国一周完歩を達成されましたその日々の努力に敬意を表しこれを表彰します
これからも頑張って下さい

上は、六月三日に私がいただいた完歩賞に書かれた文です。

このことは市保健課主催による四国一周ウォーキング募集に、日ごろ歩くことを趣味としている私にとって、とても興味ある行事としてさっそく応募、今年一月より、歩いて、歩いて、ついに目的を達成することができました。完歩賞をいただいた時は自分なりに、やったあ、と自分の足をほめてやりたい気持ちでした。

一月当初は、四国一周、考えただけでも何か気が遠くなるような思いでしたが、記録簿と四国の地図を一日一日ぬりつぶしていくことの楽しみがわき、毎日が万歩計と暮しているようなものでした。完歩してこの六カ月を振り返った時、歩いたメリットの大きさをつくづく感じています。

足が鍛えられたことは勿論ですが、全く見ず知らずの人と歩くことによって心のふれあいができ、珍しい野草を見つけたり、うつりゆく自然の変化に心をなごませ、また小高い丘からの市内一望には量販店やパチンコ店の駐車状況など人の動きにも興味をそそられたことでした。また一人で歩く時など、自分の行動への反省や希望を思いめぐらせるなど、全くの孤独の時間を満喫できたとも言えるかもしれません。

また、ある時など、小学生姉弟がそれぞれ自転車に乗り、私を追い越していきました。少し行くと対向車が来たので、二人があわてて道路端に避けると同時に、狭い道路なので路肩に車ごと倒れてしまいました。私が走って行ってその自転車をおこし、「大丈夫かね」と声をかけると、「うん、大丈夫、ありがとう」と言って再び乗って行きました。三差路まで行って二人が私の行くのを待って、「おばさんありがとう」とまた何度もお礼を言って帰りました。私はたったそれだけのことだけど、おれの言えるその姉弟のやさしい気持がうれしく、二人の姿が見えなくなるまで見送ったことでした。

南国市は健康文化都市の指定を受け、市長さんを先頭にもろもろの事業が展開されています。私達市民一人ひとりが、この理念を体して他に先んじて指定にふさわしい南国市にして行きたいものです。

私もこの四国一周途中で七十才の坂を越え、名実ともに老境に入りました。が、これを機に二周目にと、あせらずに楽しく完歩してみたいと再び始めています。「歩くことへのメリットの大きさを感じつつ」ちなみに完歩順位は二十四位でした。

# みんなの

## 思い出がいっぱい

◆小学校の時、みんなで合唱した「大きなのっぽの古時計」という歌を思い出しました。とても心に残っている歌で、今でも大好きです。子供が大きくなったら、教えてあげたいですネ！

◆小学生の頃、兄に、柱時計を使って、時間の見方を習ったことを思いだします。

◆実家には、音で時間を知らせてくれる柱時計が、私が小さい頃から元気で動いています。「大きな古時計」の歌を思い出します。

◆我が家の居間にも一ケかかっていますが、六年前長女が生まれ、音にびっくりしてしまい、泣きだしてしまうため、音を切ってしまいました。以来二女、三女と生まれ、いまだに音は切られたままです。

◆私の実家にも柱時計がありました。ネジがゆるむと極子が止まりそうになるので、あわててネジをまくのが、当時中学生だった私の役目でした。ボーン、ボーンという音で毎日時間を知らせてくれた柱時計、何とも言えず懐かしい気持ちになりました。

## われらサークル仲間

**今回は中央公民館で活動している「サツキ教室」におじゃましました。**

平成３年９月に中央公民館活動の一環として始まった「サツキ教室」は、毎月、第２・第４の日曜日の午前中に行っています。

午前9時を過ぎると、メンバーが次々と自慢のサツキ一鉢を抱えて公民館に集まってきます。

現在メンバーは１４人。おじゃました日は、サツキの新芽摘みに取り組んでいました。

指導にあたっている「南国サツキ愛好会」の小松和夫さんは、「毎年きれいな花を咲かせて生活の中に潤いを与えてもらえれば…」と話してくれます。また、メンバーの代表者である池上孝雄さんによると、先生の指導は大変親切で熱心、しかもユーモラス、いつも教室は笑い声が絶えず和気あいあいで、とてもいい雰囲気です。経験の無い人でも気軽に楽しめ、メンバー全員が練習日を心待ちにしているとのことです。

この「サツキ教室」、毎年５月下旬には中央公民館ロビーで花季展示会を行っています。